

再発防止チーム (第1回)

日時：3月18日(木) 17:15～

場所：藤井副大臣室

出席者：別紙「再発防止チームについて」メンバー

1 今回の経緯

(内閣官房 IT 総合戦略室から説明)

2 課題項目の検討

3 国会対応の体制について

(資料)

- ・再発防止チームについて
- ・デジタル改革関連法案の要綱等誤りの経緯
- ・国会対応専任体制の構築

以上

再発防止チームについて

令和3年3月

1. 目的

内閣官房・内閣府が国会等に提出したデジタル改革関連法案に係る資料の誤り及び国会への報告の不手際の発生を受け、今後の国会対応における同様の事案の再発防止策を検討するため、「再発防止チーム」(以下、「本チーム」という。)を設ける。

2. メンバー

内閣府副大臣(座長)

内閣審議官(副政府 CIO/番号制度推進室長)/内閣府番号制度担当室長(副座長)

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室審議官、同参事官

内閣総務官室参事官

内閣官房副長官補室参事官

内閣府大臣官房総務課長

3. 事務局

本チームの事務局は内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室が行う。

4. 運営等

- ・検討内容及びその結果は、内閣官房・内閣府内における今後の国会対応の改善のため、デジタル改革担当大臣ほか関係者に報告する。
- ・会議はおおむね週1回程度開催することとする。
- ・本チームの運営については、事務局が各メンバーに意見聴取を行い、適宜調整を行う。

以上

デジタル改革関連法案の要綱等誤りの経緯

(現時点で確認できたもの)

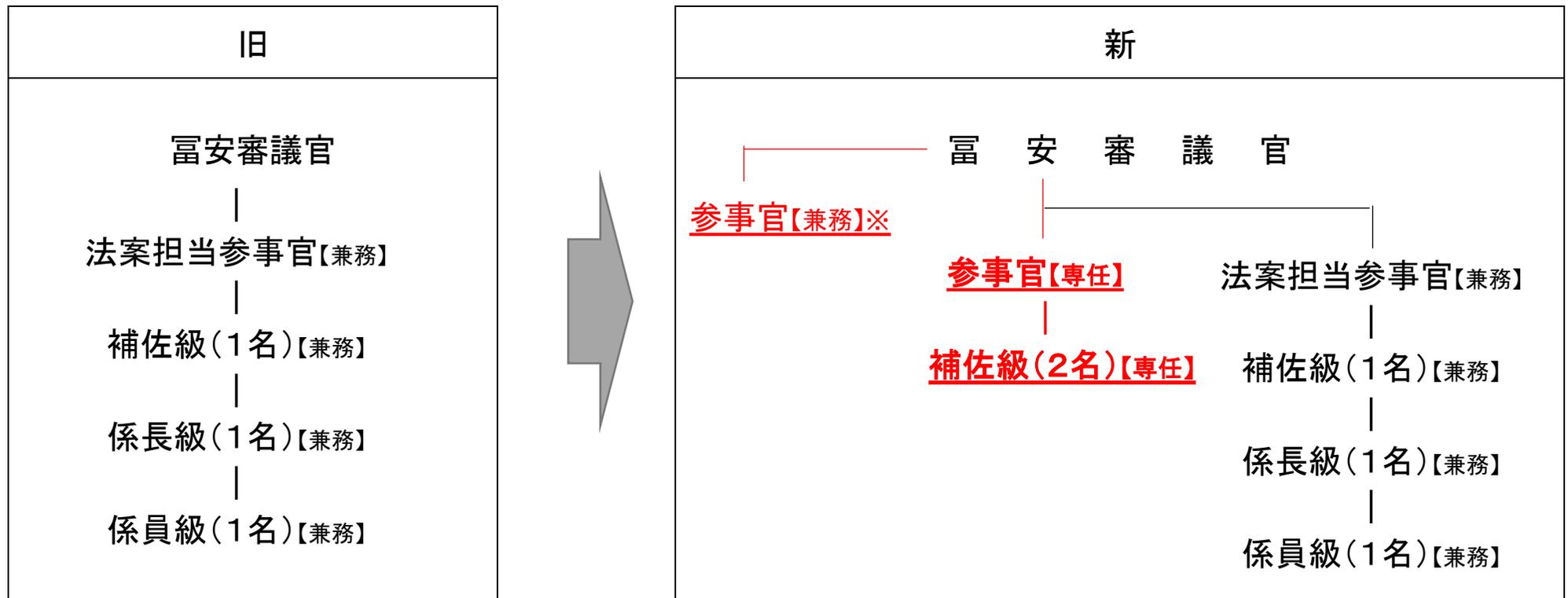
- ・ 2月12日(金)
誤りの一部が判明
その後資料全体の精査を開始
2月末に完了
(・ 2月16日(火) 大臣に誤りがあったことを一報)
- ・ 2月26日(金)～3月1日(月)
与党国対幹部等に誤りがあったことを一報
- ・ 3月4日(木)
誤りの内容を修正した関係資料の冊子(白表紙)が完成
- ・ 3月4日(木)・5日(金)
以下の先に白表紙を配布
 - ・ 与野党の国対・政調事務局等
 - ・ 閣議決定後に資料要求等に伴って法案資料を配布していた議員
- ・ 3月8日(月)・9日(火)
衆参議運、内閣委の理事会メンバーに、正誤表を配布
- ・ 3月10日(水)
衆内閣委理事会で、正誤表を配布
最終版でないものを配布していたため、午後に、最終版の正誤表を議員室に配布

デジタル改革関連法案 国会対応専任体制の構築

○ 従前の体制では、法案担当の参事官の下、内閣官房IT総合戦略室の総括担当が国会の現場対応含め、とりまとめ業務全てを少数で対応していた。

○ このため、新たに専任3名と兼務1名を配置、内閣官房IT総合戦略室の国会対応専任ラインを強化。

※下線を新たに配置



※専任ラインのほか、内閣官房副長官補室内閣参事官を1名兼務で配置。審議官を補佐。

○ また、官房部局において大臣サポート体制を強化。